

(博士後期課程) 建築・都市デザイン工学専攻【都市デザイン工学コース】 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

都市デザイン工学の「学際的」、「先進性」の理解とこれまでの技術に対する十分な知識を研究基盤として、将来の技術革新やものづくり研究に必要な学術情報や先端技術の動向と正確な分析を行い、独創的観点に立った研究課題の設定および解決ができ、かつ指導できる研究者および高度専門技術者を育成する。また、他の分野の融合知識や技術も修得して、知識と技能に加えて創造性豊かな感性力を発揮し、新しい技術開発を探究する能力を高めていく。

<求める人物像>

- 専攻および都市デザイン工学コースが掲げる教育目標を理解し、その実現に対して努力できる人
- 都市デザイン工学および建築学についての専門知識や技術を基盤とし、異分野の知識も併せ持ち、積極的に関わる意欲をもった人
- 自らの考えや研究の意義づけ、状況把握に対して、外国語も含めて的確に言語表現ができる人物

入学前に学修しておくことが期待される内容

博士前期課程における内容に加えて、以下の点について入学前に学修しておくことが期待される。

<求める人物像>

- 都市デザイン工学における研究課題に幅広い見地から取り組むことができる力と、専門分野における独自の研究課題を遂行するために必要な高度な能力、およびこれらを修得しようとする姿勢
- 研究内容に関する広い視点からの柔軟な議論、および研究成果を社会に発信することができるグローバルな観点からの高度なコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、およびこれらを修得しようとする姿勢

一般入試

面接試問と書類（調査書、成績証明書）審査の結果で総合的に評価する。面接試問では、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で行う予定の研究内容について総合的に評価する。入学前に学修しておくことが期待される内容は、上記の通り。

外国人留学生入試

学科試験は課さず、面接試問と書類（成績証明書、推薦書他）審査の結果で総合的に評価する。面接は、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で実施予定の研究内容について試問を行う。入学前に学修しておくことが期待される内容に加えて、日本語文献の読解と日常会話が可能で日本語能力が必要である。